

水産物流通バリューチェーン輸出拡大連携協議会

■取組の背景

- 近年、東南アジアやアフリカを中心にサバ類の需要が拡大。しかし、日本国内においてはトラックドライバー・輸送車両の不足や、積出港におけるコンテナヤードの混雑によって、輸出可能量が制限されている状況にいた。また、最近是中国船舶の船内凍結により製造した冷凍サバ製品の国際市場における評価が急速に高まっていた。

■取組の目的

- 積出港までの陸送における効率化
- 輸出先のニーズに対応した製品（10kg箱梱包）の販路開拓
- システム構築による輸出関連情報の共有

■協議会の構成員と役割

段階	名称	役割
生産	銚子市漁業協同組合	・輸出対象（サバ類）の水揚げ、供給
加工	全銚子水産加工業協同組合	・水産加工事業者の調整
加工	株式会社大國屋	・10kg箱梱包製造ラインの整備 ・東南アジア向けのサバ類輸出
流通	株式会社三協	・コンテナトランスファーステーションの整備、管理・運営
流通	有限会社サトーシーフーズ	・輸出関連の各種事務手続き代行
統括	全国水産加工業協同組合連合会	・全体のとりまとめ ・各主体の連携に向けた調整

■取組内容

- ◆コンテナトランスファーステーションの整備による輸出効率化**
- ✓ **コンテナトランスファーステーションの整備**→コンテナを保管するシャーンと併せ、保冷設備に給電するための電源や照明を整備し、**冷凍コンテナによる保管を実施**
 - ✓ **積出港までの陸送ラインの効率化**→積出港までの陸送に従事するトラックドライバーや輸送車両といった物流手段を確保、**積出港までの効率的な陸送を実現**
 - ✓ **アフリカ向けサバ輸出の活性化**→一度に多数の冷凍魚を集約し、まとめて出荷することが求められる**アフリカ各国に向けた輸出ラインを活性化**する

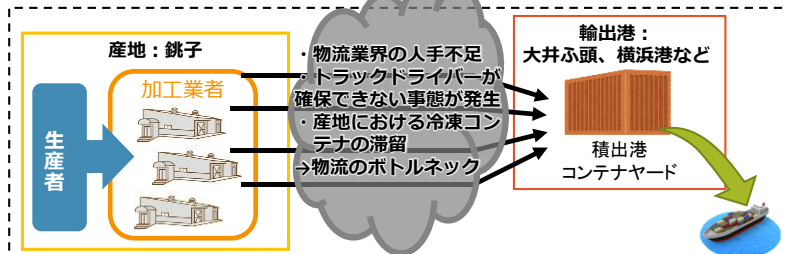
- ◆10kg 箱製品の製造による東南アジア向け販路開拓**
- ✓ **10kg箱製造ラインの整備**→HACCP対応の大規模凍結設備を保有している加工業者の工場内に**新たに10kg箱の製造ライン**を整備
 - ✓ **箱詰・凍結ラインの効率化**→新規に整備した10kg箱の製造ラインと、既存の15kg箱製造ラインを並行して稼働することにより、**効率的な凍結施設の活用**を実現
 - ✓ **10kg箱製品を活用したベトナム向け輸出**→新規輸出先国として想定しているベトナムからの要望が強い10kg箱製品の製造により、**輸出先の拡大と輸出量の増大を推進**

◆情報共有システムの構築

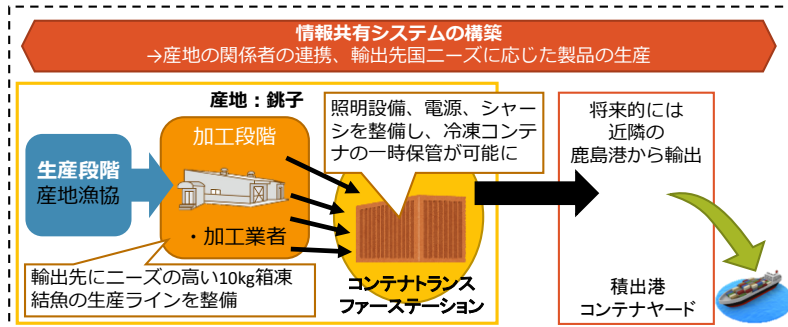
- ✓ **地区内報水産加工業者の連携**→銚子地区内の水産加工業者10～15社が参画し、情報共有システムを構築し、水揚げ情報や各工場の空き状況等、**業務において有益な情報**を掲載予定
- ✓ **情報公開の実施**→当面は関係者間のみ閲覧可能なシステムを想定しているが、将来的には集約した情報を公開し、他産地の加工業者との連携による**業界全体の業務効率化**等も視野に入れて検討

冷凍サバ輸出の効率化と販路開拓

■取組実施前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- サバ類の不漁により、輸出に見合う価格での原料確保が困難な状況にある。加えて、運送費、梱包資材費等の各種コストも高騰。
- サバが不漁なため、マイワシに転換し輸出を実施。ベトナムでは10kg箱製品の引き合いが強く、ブランドを確立。
- 情報共有システムに集約した情報は徐々に協議会以外へ展開していく方針。

★本取組によって得られたバリュー★

新規マーケット開拓	10kg箱製品の製造による東南アジア向け販路開拓
物流効率化	コンテナトランスファーステーション整備による輸出効率化
システム構築	輸出業務に関連した情報共有システムの構築